

館蔵

陶芸展

時代を超えた珠玉のやきもの



2026年5月23日(土)ー7月20日(月・祝)

館蔵の陶磁コレクションから、日本・中国・朝鮮のやきもの約80点を選び展観。精緻で優美な中国の青磁、青花や五彩、茶の湯の美意識に適った朝鮮時代や桃山時代の茶陶など、五島美術館が誇る優品が一堂に会します。

●キヤリートーク等イベントの開催は別途告知いたします。
●会場内展示は2026年5月23日(土)ー7月20日(月・祝)までです。
●館内整備のため休館日(7月20日)は開館。
●次回展示は「陶磁展Ⅱ 秋の優品展」(2026年9月10日(土)ー10月11日(日))です。
●お車でのご来館が必要な方以外は公共交通機関をご利用ください。
●お問い合わせは「展覧会のご案内」(ハローダイヤル0554-554118)まで。



五島美術館

東急・大井町線「野毛駅」下車徒歩五分 電話 03-3703-0662



- 協賛=東急グループ
- 休館日=毎月曜日(7月20日は開館)
- 開館時間=午前10時ー午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入館料=一般1100円/高・大学生800円/中学生以下無料

ASIAN CERAMICS FROM THE GOTOH MUSEUM COLLECTION,
23rd May through 20th July, 2026.
Closed every Monday (20th July open).
Museum hours 10:00A.M.-5:00P.M.
Five minutes walk from Kaminoge station, Tokyu Ōimachi line.
THE GOTOH MUSEUM
URL=<https://www.gotoh-museum.or.jp/>



PRESS RELEASE

館蔵の陶磁コレクションから、日本・中国・朝鮮のやきもの約80点を選び展観。精緻で優美な中国の青磁、青花や五彩。茶の湯の美意識に適った朝鮮時代や桃山時代の茶陶など、五島美術館が誇る優品が一堂に会します。

五島美術館

今回の展覧会のおすすめ作品



重要文化財 **青磁鳳凰耳瓶(砧青磁)** **龍泉窯**
磁器/一口 高33.5cm 口径13.1-13.0cm 胴径15.5cm 底径13.2cm
中国 南宋時代・13世紀 五島美術館蔵

安定感のある太い胴に細長い頸が付いた瓶で、頸には一対の鳳凰をかたどった耳がついています。数々の優品を焼造した浙江省龍泉窯の青磁です。龍泉窯のこの形の瓶は花生として日本で大変好まれ、同時代の鎌倉時代はもとより、焼造が終了している室町時代になっても中国から輸入したほどの人気を博しました。本作品は類品の中でもっとも大きく、その色調とともに堂々とした姿が大変魅力的です。



重要文化財 **五彩透彫水注(金襴手)** **景德鎮窯**
磁器/一合 高28.2cm 口径5.9cm 底径8.3cm
中国 明時代・16世紀

白磁として一度焼成した器の上に、赤や緑、黄色に発色する絵具で文様を描いてもう一度低い温度で焼成したやきものを、中国では「五彩」と呼びます。本作品は胴部に牡丹孔雀図の透かしを入れた上に黄釉を掛け、さらに金彩を施すなど手間暇をかけた丁寧な作りとなっており、類品は極めて少数です。器全面に描かれた緻密な文様が、下膨れの器の形に調和した大変優美な作品です。



粉青搔落牡丹文扁壺
陶器/一口 高19.6cm 口径4.9cm 底径8.7-8.2cm
朝鮮時代・15世紀 五島美術館蔵

器の表面に白化粧を施し、その白化粧を搔落として牡丹の文様を描いています。さらにその上に掛けられた釉薬が青みを帯びて美しく発色しています。扁壺は器を前後から押しつぶしたように扁平になった形の壺で、朝鮮時代には数多く造られました。中国のやきもののような端正な姿ではなく、朝鮮時代のやきものに特徴的な少し歪んだ姿で、そこに大らかな牡丹の文様が表裏面に描かれ、大変親しみを覚えます。



辰砂蓮花文壺
磁器/一口 高29.2cm 口径12.9cm 底径13.5cm
朝鮮時代・18~19世紀 五島美術館蔵

辰砂は、透明釉の下に銅を呈色材とした絵具で文様を描いて焼成したやきものです。釉薬の上に文様を描く五彩とは異なり、一度の焼成で文様を紅色に発色させるため、鮮やかな色を出すには高い技術が必要です。本作品では、大らかな蓮の花と葉が鮮やかに発色し、ほのかに赤味を帯びた白磁に美しく映えています。朝鮮時代の白磁辰砂の魅力を存分に味わえる作品です。



重要文化財 **鼠志野茶碗** **銘 峯紅葉**
陶器/一口 高8.9-7.6cm 口径14.0-13.5cm 底径6.1-5.9cm 重量487.4g
桃山時代・16世紀末期~17世紀初期 五島美術館蔵

鼠志野は美濃(岐阜県南部)で焼造された美濃焼の一種で、鬼板と呼ばれる鉄分を含む化粧土と、白く発色する志野釉により、鼠色に発色させたやきものです。伝世する鼠志野の茶碗は10碗ほどで、その中でも巧みな成形と鋭い造形を示す秀逸な茶碗です。銘の「峯紅葉」は、赤味がかった釉調と山道と呼ばれる起伏のある口の形状から付いたものとされます。「峯紅葉」という銘が、作品をより魅力的なものとしています。



重要文化財 **古伊賀水指** **銘 破袋**
陶器/一口 高21.4cm 口径15.2cm 胴径23.7cm 底径18.0cm 五島美術館蔵
桃山時代・17世紀初期

この作品については言葉を要しません。ただ、見て感じてほしい作品です。伊賀焼は桃山時代を代表するやきもののひとつです。歪んでいながらどっしりと安定感のある姿。口や胴部に付着した窯体の降下物。縦にぱっくりと開いた疵。破格の造形と言われる古伊賀の魅力が凝縮されています。武将茶人の古田織部が「今後これほどのものはないと思う」という内容の手紙(関東大震災で焼失)を残したように、唯一無二の名品です。

主な展示予定品（会期中一部展示替があります）

*展示予定期間(前期)=5月23日[土]—6月21日[日]/展示予定期間(後期)=6月23日[火]—7月20日[月・祝]

＜中国＞		
灰陶加彩雲気文鍾	前漢時代・紀元前3世紀～紀元後1世紀	五島美術館蔵
青磁洗 越窯	西晋時代・3～4世紀	五島美術館蔵
三彩万年壺	唐時代・8世紀	五島美術館蔵
緑釉牡丹文鳳首瓶 缸瓦窯	遼時代・11世紀	五島美術館蔵
白磁蓮弁文水注 定窯	北宋時代・10～11世紀	五島美術館蔵
重要美術品 白釉黒花牡丹文梅瓶 磁州窯	宋時代・12世紀	五島美術館蔵
重要文化財 青磁鳳凰耳瓶(砧青磁) 龍泉窯	南宋時代・13世紀	五島美術館蔵
黒釉兎毫斑鉢(禾目鉢) 建窯	南宋時代・12～13世紀	五島美術館蔵
重要美術品 黒釉木の葉文碗 吉州窯	南宋時代・12～13世紀	五島美術館蔵
青磁鉄斑文小瓶 龍泉窯	元時代・14世紀	五島美術館蔵
月白釉水盤 鈞窯	(前期展示予定)明時代・15世紀	五島美術館蔵
青花唐草文輪花皿 景德鎮窯	明時代・15世紀	五島美術館蔵
青花唐草文鉢 大明宣徳年製銘 景德鎮官窯	明時代・15世紀	五島美術館蔵
三彩楼閣人物文大壺(法花) 景德鎮窯	明時代・15～16世紀	五島美術館蔵
重要文化財 五彩透彫水注(金欄手) 景德鎮窯	明時代・16世紀	五島美術館蔵
重要美術品 五彩寿字花鳥文瓢形瓶(金欄手) 景德鎮窯	明時代・16世紀	五島美術館蔵
青花胴〆碗(祥瑞) 景德鎮窯	明時代・17世紀	五島美術館蔵
青花蜜柑形水指(祥瑞) 景德鎮窯	明時代・17世紀	五島美術館蔵
五彩龍文四方水指(南京赤絵) 景德鎮窯	明時代・17世紀	五島美術館蔵
青花葛文合子 景德鎮窯	明時代・17世紀	五島美術館蔵
白磁牛文合子 漳州窯	明時代・17世紀	五島美術館蔵
茶葉末瓶 大清乾隆年製銘 景德鎮官窯	清時代・18世紀	五島美術館蔵
＜朝鮮＞		
青磁鉄地白堆草花文梅瓶	高麗時代・12世紀	五島美術館蔵
粉青搔落牡丹文扁壺	朝鮮時代・15世紀	五島美術館蔵
粉青粉引鉄絵草花文扁壺	朝鮮時代・16世紀	五島美術館蔵
粉引酢次茶碗 銘 呉竹	朝鮮時代・16世紀	五島美術館蔵
重要美術品 井戸茶碗 銘 美濃	朝鮮時代・16世紀	五島美術館蔵
熊川茶碗 銘 千歳	朝鮮時代・17世紀	五島美術館蔵
辰砂蓮花文壺	朝鮮時代・18～19世紀	五島美術館蔵
＜日本＞		
白瓷長頸瓶 猿投窯	平安時代・9世紀	五島美術館蔵
黄瀬戸立鼓花生 銘 ひろい子	桃山時代・16世紀	五島美術館蔵
黄瀬戸平茶碗 銘 柳かげ	桃山時代・16～17世紀	五島美術館蔵
瀬戸黒茶碗 銘 武蔵坊	桃山時代・16～17世紀	五島美術館蔵
重要文化財 志野茶碗 銘 峯紅葉	桃山時代・16～17世紀	五島美術館蔵
志野矢筈口水指	桃山時代・16～17世紀	五島美術館蔵
黒織部杵形茶碗 銘 わらや	桃山時代・17世紀	五島美術館蔵
織部舟形手鉢	桃山時代・17世紀	五島美術館蔵
古備前平鉢	桃山時代・17世紀	五島美術館蔵
絵唐津四方筒向付	桃山時代・17世紀	五島美術館蔵
重要文化財 古伊賀水指 銘 破袋	桃山時代・17世紀	五島美術館蔵
古伊賀耳付花生	桃山時代・17世紀	五島美術館蔵
長次郎赤楽茶碗 銘 夕暮	桃山時代・16世紀	五島美術館蔵
常慶黒楽茶碗 銘 悪女	桃山時代・17世紀	五島美術館蔵
光悦黒楽茶碗 銘 七里	江戸時代・17世紀	五島美術館蔵
重要美術品 伯庵茶碗 銘 朽木	(前期展示予定)江戸時代・17世紀	五島美術館蔵
色絵山水文大皿(青手) 古九谷様式	江戸時代・17世紀	五島美術館蔵
乾山色絵菊文向付	江戸時代・18世紀	五島美術館蔵

【館蔵】

陶芸展 時代を超えた珠玉のやきもの

ASIAN CERAMICS FROM THE GOTOH MUSEUM COLLECTION.

2026年5月23日[土]—7月20日[月・祝]

- 協賛＝東急グループ
- 休館日＝毎月曜日(7月20日は開館)
- 開館時間＝午前10時—午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入館料＝一般1100円/高・大学生800円/中学生以下無料
- 交通＝東急大井町線(各駅停車)「上野毛駅」(かみのげ)下車徒歩5分



重要美術品 白釉黒花牡丹文梅瓶 磁州窯



白瓷長頸瓶 猿投窯



重要美術品 井戸茶碗 銘美濃



黒織部杓形茶碗 銘わらや

〈ギャラリートーク〉

当館学芸員によるスライドを交えた展示作品に関わる解説
 五島美術館別館講堂 当日入館者聴講無料 椅子席180名先着順
 当日の正午より受講整理券を配布します。

「五島美術館収蔵の中国陶磁」

5月27日[水]午後2時—3時頃(開場・受付は午後1時30分)

「五島美術館収蔵の日本陶磁」

6月24日[水]午後2時—3時頃(開場・受付は午後1時30分)

〈特別公開〉

茶室「古経楼」「富士見亭」特別公開

6月3日[水]午前11時—午後3時 当日入館者・入園者見学無料

- 会期中一部展示替があります。また、当館には常設展示はございません。
- 館内整備のため休館＝2026年7月21日[火]—9月4日[金]
- 次回展示＝【館蔵】秋の優品展 唐草文の美
2026年9月5日[土]—10月12日[月・祝]

公益財団法人 五島美術館

〒158-8510 東京都世田谷区上野毛3-9-25 TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)

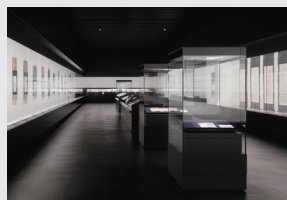
<https://www.gotoh-museum.or.jp/> (五島美術館ホームページ)

五島美術館 (ごとうびじゅつかん)

五島美術館は、東急の元会長五島慶太(ごとうけいた 1882～1959)が、半生をかけて収集した日本・東洋の古美術品を根幹に、1960年に開館しました。展示作品は展覧会ごとに変わり、コレクションから各分野の代表作品を紹介、特別展では毎回特色あるテーマを企画しています。2011年には大東急記念文庫と合併し、翌年4月1日より「公益財団法人五島美術館」として歩みを進めています。2017年、本館と庭園内の茶室「富士見亭」「古経楼」が、国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。



本館・中庭 (photo by Shigeo Ogawa)



展示室1 (photo by Shigeo Ogawa)



展示室2 (photo by Shigeo Ogawa)

- 開館時間＝午前10時—午後5時(入館受付は午後4時30分まで)
- 展覧会と展覧会の間は展示替休館となります。
- 入館料には入園料を含みます。
- 障害者手帳をお持ちの方、ならびに介助者の方1名は200円引。
- 入園のみ(展覧会をご覧にならない場合は1人300円(中学生以下無料))。
- 団体(20名以上1人900円/特別展は別途)は、受け入れを休止することがあります。

交通

東急大井町線(各駅停車)「上野毛駅」(かみのげ) 下車徒歩約5分

- 「渋谷駅」から
東急田園都市線→「二子玉川駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
東急東横線→「自由が丘駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
- 「東京駅」「品川駅」から
JR京浜東北線→「大井町駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
- 「横浜駅」から
東急東横線→「自由が丘駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
- 「新横浜駅」から
東急新横浜線→「日吉駅」→東急東横線→「自由が丘駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」

上野毛駅からの地図

